

動

オーサー・ビジット 読書会ルポ

好きな作家の作品を語り合う「中高生のための読書講座 オーサー・ビジット校外編」(朝日新聞社など主催)には昨年度、3回で計102人の中高生が集った。オーサーは小説家の森繁雄さん、佐藤多佳子さん、森見登美彦さん。参加者は5、6人ずつの班に分かれて約1時間、課題図書のお好きなフレーズを発表して話し合う「読書会」を体験し、一人きりの読書では味わえない喜びを感じていた。

構成員 中津海麻子

参加した生徒の多くから聞くときどきが「自分も本を讀

……」と読み上げる。『愛がある!』と向かいに座った女子

「違うからおもしろい」

が好きな男子中学生が「僕も陸上部なんです」と話すと、「私も陸上部! 種目は?」と隣の女子。しばらく本から脱線して部活トークに花が咲いた。

ととんとん話そう

会に参加する前、生徒だには好きな本のPOPを作る「宿題」があった。POPとは、作品のあらすじや魅力を短いコピーやイラストなどで表現したもの

せいか、短い言葉で本質を表現するのが面白い(森さん)。「中高生が僕の作品をどう読み、何をおもしろいと思う、どんなところに矛盾を感じているのか、読書会やPOPからリアルに伝わってきた(森見さん)と感嘆しきりだった。

高校生の母でもある佐藤さんは「今の高校生は入りでしゃべるのは好きだけど、がっちり語るのには面倒くさいと感じているよ」と話した上で「自分と違う意見には、なぜそう思うのか、どうして納得できなくても理解するまでととんとん話し合ってみてほしい。友達と

出会いの場

読書会は、ずいぶん前からあった。人々が求めたのは「正解」や「教え」。しかし最近の読書会は、ちよつと違う。考え方の違いを尊重し、人どうつながる手段になっているようだ。

東京の中野区立桃花小の「PTAサークル 親子読書とんぐりの会」は、前身の会から数えると、37年間、読書会を続けている。

放課後や休日に親子で参加するのが原則で、子どもに感想を發表させたり、作品にちなんだ場所へ行ったりすることも。会員の戸城業紀さん(45)は「本をよんだら感じたかを知ることが、子どもの心根を知ることにつながる」という。

本が仲立ち

テーマを設けて楽しむ

「感想を言い合っただけではつまらない」。翻訳家で法政大教授の金原瑞人さん(55)はゼミの学生に呼びかけた読書会にテーマを設定した。

「あなた」の視点で書かれる「二人称小説の可能性を探る」。「二人称小説」が書きつらいと言われるのはなぜか、という書き手の視点で読んでみる。読み方の多様性を実感してもらいたい」と狙いを語る。

作家の梨屋アリエさんは、昨年から12〜19歳限定の「YA読書クラブ」の世話人になっている。理由は「10代が本を楽しむ場が少なかったから」。自由に本とふれあい、仲間としゃべってもらいたいと願う。「もさんはおとなしい子も、好きな

ネットで読書仲間集め

本の話はいきいきと發表する。指導ではなく、子どもが興味のあることを大切にしたい」と話す。

ビジネスマシンの間では、インターネットで広く仲間を集め、現実の世界で交流するスタイルが盛んでいる。本が「出会い」を演出する形だ。

名古屋市で住居リフオーム会社を運営する山本多津也さん(46)は、2008年、2人で読書会「名古屋からトット勉強会」を始めた。会員制交流サイト「フェイスブック」で参加を呼びかけると「回悉」が増。今や会員は4千人近くにもなる。「勉強したいという意欲に加えて、不透明な時代だからこそ、人とつながりたい気持ちがあるようだ」と山本さんは話す。

米国は読書会の「先進国」。小説

米ではプロが手ほどき

『シエイン・オースティンの読書会』はベストセラーになり、映画化もされた。06年に出版された日本語訳を担当した矢倉尚子さん(58)は90年代、現地に滞在し女性たちの読書会熱を体験してきた。

メンバーの家に集って本の感想を語り合いながら、お酒やお茶も楽しむ。専門のウェブサイトも充実。運営に迷ったり、マンネリ化したりした時には「プロの読書会リーダー」も紹介してもらえる。

米国で人気が出たのは、有名司会者オブラ・ウインフリーがテレビ番組で始めた読書会の影響が大きいというが、「家族を置いて女性が夜に家を出る機会が少なかった時代に、外出する口実として盛んになった側面もあるのでは」と矢倉さんは話している。(吉岡秀子)

「どくしょ甲子園」応募規定

■応募方法: ①所定の応募用紙に(1)代表者の氏名、住所、電話番号、学校名、学年、クラス(2)そのほかのメンバーの氏名、学校名、学年、クラスを明記、所定の欄に読書会の様子を写した写真を貼ってください。②読

■表彰: グループに賞を贈ります。

◎最優秀賞(1点) 正賞のほか図書カード5万円分

◎優秀賞(2点) 正賞のほか図書カード3万円分

◎奨励賞(3点) 正賞のほか図書カード2万円分

■発表: 2010年9月10日までに代表者あてに電話で通知。

朝日新聞紙面などでも発表します。

■表彰式: 2010年10月中旬、最優秀・優秀・奨励作品の入賞グループを招待し、東京で表彰式を行います。また後